

2022年2月期(第44期)
決算説明会

1.2021年度の業績

2.重点施策の取り組み

- ①イオン石狩PC稼働
- ②商品開発
- ③店舗活性化
- ④デジタルの取り組み
- ⑤SDGsの取り組み

3.2022年度の取り組み

4.通期業績予想

1.2021年度の業績

2021年度の業績



- ・ 食品が堅調で売上高増収
- ・ 利益は積極的な投資で減益の計画。**計画どおり積極投資実施**
トップライン未達、荒利率低下で公表を下回る

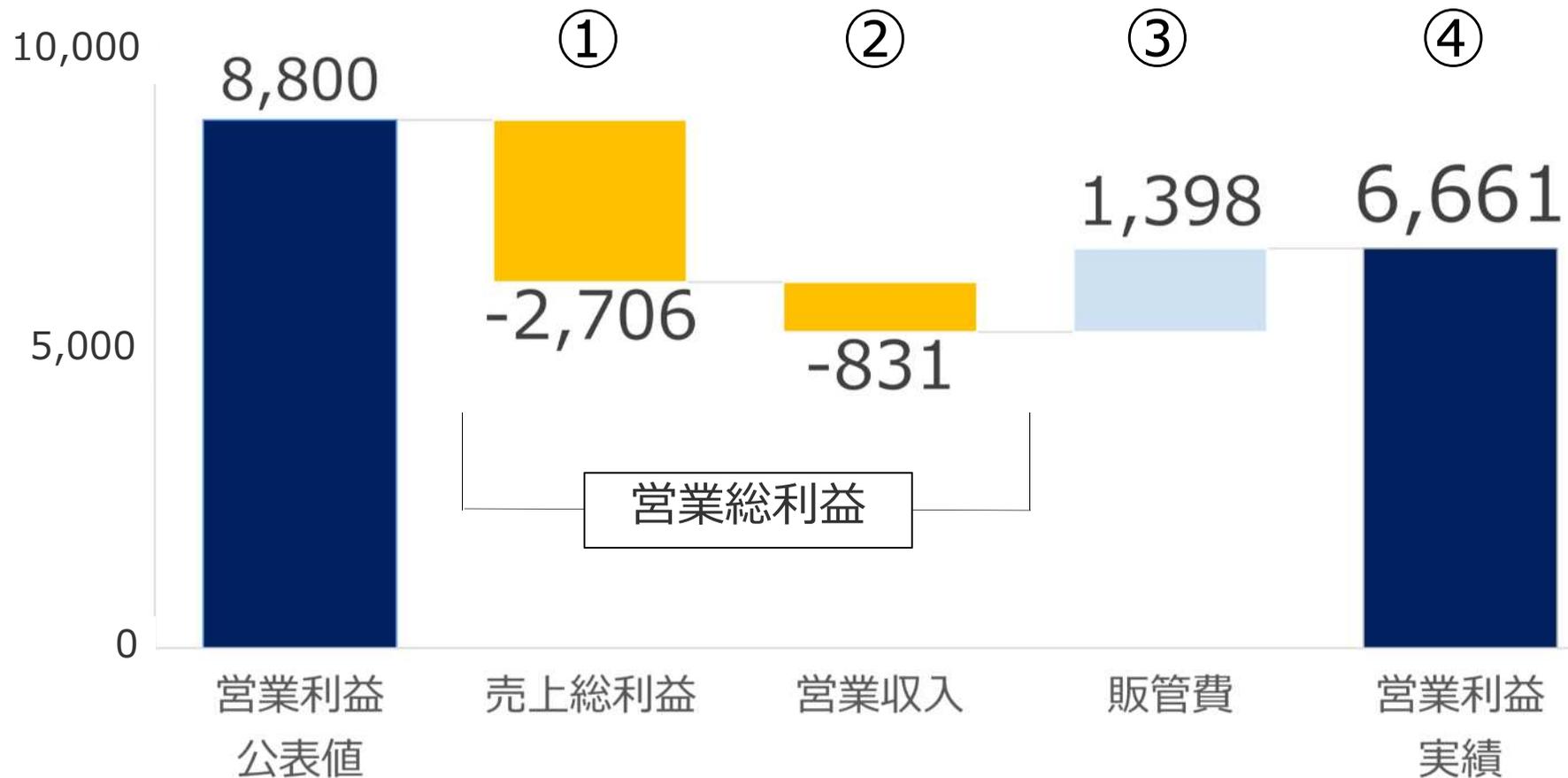
単位：百万円

	実績	前期差	公表差
売上高	321,604	+1,704 前期比100.5%	▲3,395 公表対比99.0%
営業利益	6,661	▲2,704 前期比 71.1%	▲2,138 公表対比75.7%
経常利益	6,688	▲2,608 前期比 71.9%	▲1,811 公表対比78.7%
当期純利益	3,827	▲2,024 前期比 65.4%	▲672 公表対比85.1%

2021年度の業績 【営業利益 計画との差異】



単位：百万円



- ①衣料、住居余暇部門の売上不振、荒利率低下の影響で想定よりマイナス
- ②時短、休業による影響。衣料を取り扱うテナントを筆頭に回復遅れ
- ③当初より積極投資を見込み、前年より増の計画。計画内で管理
- ④営業総利益が想定を下回り公表未達

2021年度の業績【業態別売上高前期比】



- ・GMSはコロナ前の売上には届かずも前年より増（次ページ参照）
- ・SM/DSともに巣ごもり需要取り込み伸長
DSは生活防衛意識の高止まりにより既存比も伸長

カッコ内は既存店売上高前期比
単位：百万円/%

	売上高	前期比	前々期比
GMS事業	176,115	100.6 (100.6)	98.0 (98.0)
SM事業	97,320	100.0 (99.4)	103.8 (102.1)
DS事業	41,267	101.2 (100.7)	108.2 (102.9)

※ 「GMS事業」…総合スーパー（SuC含む）、「SM事業」…スーパーマーケット事業、「DS事業」…ディスカウント事業
 ※ 既存売上高前年同期比については、2020年度以降の新店、閉店店舗を除く

2021年度の業績【GMSにおけるライン別売上高前期比】

- ・GMS業態においても食品が好調。全体を押し上げる。
内食需要の継続、PB価格凍結宣言の効果で好調。
デリカはさらに石狩PC商品導入で伸長
食品は企業計売上高**11期**連続増収。
- ・コロナ影響長期化し、衣料、住居余暇の回復遅れ

単位：%

GMS	前期比			前々期比
	上期(3月~8月)	下期(9月~2月)	年間	
衣料	100.0	97.5	98.6	79.5
食品	103.5	101.3	102.4	104.7
住居余暇	96.9	96.5	96.7	94.9
企業計	101.5	99.8	100.6	98.0

2021年度の業績【販管費】



- ・イオン石狩PC新設、大型活性化の投資や原油高による水道光熱費の増加などで前期より増。
しかし当初から増加計画としており、計画内で管理

単位：百万円/%

	実績	前期比	売比
人件費	42,628	102.5	13.3
販促費	12,068	102.6	3.8
設備費	31,679	105.5	9.9
一般費	7,098	100.2	2.2
販管費合計	93,474	103.3	29.1

2021年度の業績【財務状況】



単位：百万円/%

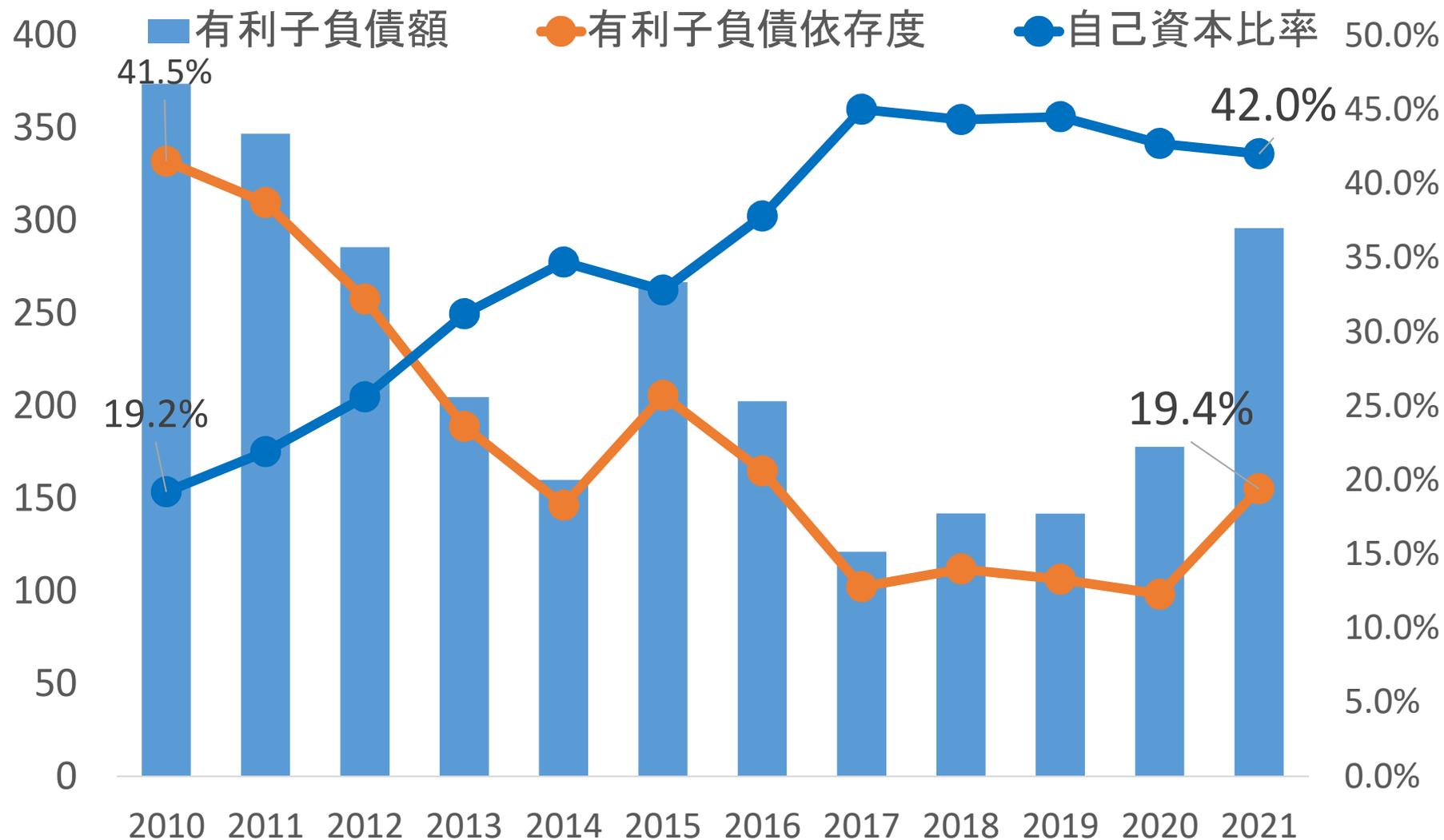
		2022年2月期末			2021年2月期末	
		実績	構成比	増減	実績	構成比
	流動資産	32,637	21.5	▲2,395	35,033	24.3
	固定資産	119,456	78.5	+10,225	109,231	75.7
資産合計		152,094	100.0	+7,829	144,264	100.0
	流動負債	66,933	44.0	834	66,099	45.8
	固定負債	21,084	13.9	4,792	16,291	11.3
負債合計		88,018	57.9	+5,627	82,391	57.1
純資産合計		64,076	42.1	+2,202	61,873	42.9
負債・純資産合計		152,094	100.0	+7,829	144,264	100.0

2021年度の業績【財務状況】



・積極投資を行い自己資本比率は減少も高い水準を維持

単位：億円



2.重点施策の取り組み

- ①イオン石狩PC稼働
- ②商品開発
- ③店舗活性化
- ④デジタルの取り組み
- ⑤SDGsの取り組み

重点施策 ①イオン石狩PC稼働



商品改革

- 「強い食」の実現
- エリア商品戦略の推進（ローカルPB）
- 時短・簡便・ヘルシーなど
- テーマに基づいたカテゴリーの取り組み



収益構造改革

- 集中生産による効率化
- アウトパック供給拡大による
- 店舗品揃えレベルの向上
- 専用機器導入によるロングライフ商品開発
- 売上拡大・売変削減



物流改革

- 同一センターによる商品製造、店舗配送
- 物流コストの削減
- 店舗配送の効率化（業態、地域別）



低温物流センター、畜産、デリカの商品製造を行う
プロセスセンターを併設
『イオン北海道にしかない独自価値』の創造

重点施策 ③店舗活性化

設備の一新



マックスバリュ新琴似店
(4月15日活性化)



ザ・ビッグ宮前通店
(6月12日活性化)

売場の一新



マックスバリュ菊水店
(9月25日活性化)



イオン江別店
(6月23日活性化)

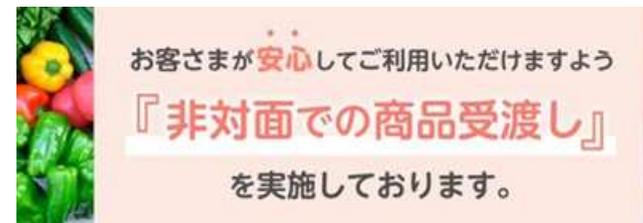
GMS 4 店舗、SM 5 店舗、DS2 店舗計 11 店舗で大型活性化実施
活性化後軒並み好調。直営ゾーン活性化店舗 前期比 **105%** 超

重点施策 ④ デジタルの取り組み 【インターネット販売事業】 **AEON**

インターネット販売事業 前年同期比 **122.4%**

ネットスーパー

前年同期比 **119.3%**



新規会員数増加に伴う
利用者増、ユーザビリティの改善
配送増便、品揃え拡充

eショップ

前年同期比 **136.2%**



10 企画新規開設
ギフト、おせちなど
既存サイトも好調

重点施策 ④ デジタルの取り組み

【店舗のデジタル化】



セルフレジ+
お支払いセル
フレジの導入



セルフレジ	
年間	22店舗に導入※ (126台導入)
計	49店舗に導入済
お支払いセルフレジ	
年間	33店舗に導入※ (登録機115台・精算機255台導入)
計	78店舗に導入済
両方合わせて	
年間	45店舗に導入※
計	93店舗に導入済

※ 両装備店舗あり

iAEONの
配信スタート



iAEON



AEON Pay

iAEON

2021年9月より配信スタート

バーコード決済「AEON Pay」を搭載

業務効率及びレジ混雑緩和によるお客さまの負の解消を目的として、
セルフレジ・お支払いセルフレジ年間45店舗に導入

AEON Payの利用促進に向けた販促を実施

PPAモデル導入



マックスバリュ 沼ノ端店



衣料品回収ボックス



2021年12月、苫小牧市のマックスバリュ沼ノ端店、弥生店に太陽光パネルを設置。PPA（電力供給契約）モデルの取り組みをスタート

2021年10月より順次、道内のイオン・イオンスーパーセンター32店舗に衣料品回収ボックスを設置

重点施策 ⑤SDG s の取り組み

各種表彰を受賞

SDG s 経営表彰 総合賞

SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて積極的に取り組む企業の中でも、様々な分野に総合的に取り組む企業を表彰するもの

評価活動（一例）



ダイバーシティ経営

北海道生物多様性保全 実践活動賞

北海道における生物多様性の保全等を推進するため、優れた活動・模範的な活動を行う企業・団体等を表彰するもの

評価活動（一例）



イオン チアーズクラブ
いきもの調査隊



防災



南富良野町植樹

3.2022年度の取り組み

独自商品の開発

当社のPB商品		差別化
地域PB	地場生鮮	生鮮大産地である北海道で支持される地場生鮮による差別化商品
	自社商品	当社独自開発による差別化商品
	PC製造商品	当社のプロセスセンター製造による差別化商品
トップバリュ		イオングループの差別化商品



看板商品の拡大

2022年度の取り組み



新規出店

	出店計画
SM/DS	3
まいばすけっと	4



店舗活性化

積極的に実施。
本年大型活性化10店舗計画（予定）
第1弾は4/9 ザ・ビッグ鳥取大通店

eコマースの拡大



ネットスーパーは
拠点拡大
4月イオン苫小牧
店に出店



eショップは新規サイト開設

衣料、住居余暇の立て直し

コロナ下で需要減、今後感染者減少で大きく伸長するカテゴリー

トラベル



化粧品



スポーツ
キッズ
ウェア



アウトドア



前年まで苦戦していたカテゴリーの浮上
需要の高まりをいち早くとらえ俊敏に対応

衣料、住居余暇の立て直し

新たな生活様式浸透により伸長し、今後さらに伸長するカテゴリー

エクササイズ
ウェア



オーラルケア



SDGS



フラワー＆
ガーデン



前年の好調トレンドをさらに拡大
浸透した生活様式に対応

DXの取り組み

顧客化戦略 one to oneへの取り組み

<i>AEON</i>アプリの強化

アプリを通して顧客とのつながりを強化
顧客ひとりひとりにあった情報の提供

◆主な機能

- ・決済機能
- ・ポイント機能
- ・クーポン機能
- ・サービス機能
- ・Eコマース連携



ポイント管理 WAON POINT



バーコード決済 イオンペイ



セルフレジ導入促進



お支払いセルフレジ、フルセルフレジ
ともに導入促進

4.2022年度の業績予想

※業績予想は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。
また、経済動向や個人消費、市場需要、税制や諸制度などに関わるリスクや不確実性を含んでいます。それゆえ実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性のあることをご承知おきください。

2022年度の業績予想



「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を
期首から適用

単位：百万円

	2021年度実績	2022年度計画※		
		公表値	売比 (%)	増減率 (%)
売上高	321,604	317,000	100.0	▲1.4
営業利益	6,661	9,000	2.8	+35.1
経常利益	6,688	8,800	2.8	+31.6
当期純利益	3,827	4,500	1.4	+17.6
配当/ 配当性向	12円/43.6%			12円/37.1%

「収益認識に関する会計基準」等を適用しなかった場合の
2022年度売上高計画は 3,282億円 当期比102.1%

日々のいのちと暮らしを、「夢のある未来」へ。

AEON



木を植えています

私たちはイオンです